

2012 春休みから始めました！ 保養キャンプ

南房総の自然を満喫！

避難していたお友達も合流。
久しぶりの再会に大喜び！



白浜の磯遊び



春の野草摘み



イルカの出番はまだかな



花を摘んでおみやげに



「自然の宿くすの木」の前で



健田小学校の子どもたちとあそんだよ



イセエビ生きているよ

報告会をやっています

みなさまのご支援で成り立っている活動なので、報告会で活動・会計報告を行なっています。東京、福島、千葉と3ヶ所での開催となります。子どもたちの笑顔を通じて、「ご支援ありがとうございます」という気持ちを表したい。ホームページでも報告しています。

千倉・健田小学校
でのトークショー



保養キャンプをなぜやるの？

2011年3月11日の福島第一原発事故の影響で、原発から60キロも離れた福島市内にも放射線量の高い地域が出来てしまいました。警戒区域・避難区域の指定を受けていないので、避難するのに行政の支援が一切ありません。それだけではなく仕事、友達や親類との付き合いなど、それまでに築きあげたすべてを放棄しないといけません。簡単にできることではないです。だから子どもたちも避難できずに暮らしています。



御山地区にあるモニタリングポスト(2012年2月撮影)

放射線量が高いため、外遊びもできず、公園には人がいない。洗濯物も外には干せない。落としたハンカチは拾うなどいわれ、道ばたの花も摘めない。ボールを蹴ることも、キャッチボールもできないし、鬼ごっこもできない。そんな中で子どもたちは我慢してストレスをためています。

避難できないのならせめて一時保養に連れ出し、楽しいひと時を過ごして身も心もリラックスさせてあげたいと、「南房総で過ごす保養キャンプ」を始めました。子どもにとって放射線のない自然の中で過ごすことが、たとえ短期間であっても大変効果的なことなのです。2012年春休みに1回目のキャンプを実施、これからも長く継続していきます。

福島市御山地区学童クラブ おやま子どもクラブの みなさんが保養に来ています。

福島駅から車で10分程度の距離にある御山地区。なかのアクションとご縁があって「おやま子どもクラブ」が学童クラブとして取り組んでくれることになりました。顔の見える関係ができ、一緒に保養キャンプを作っていくと始まりました。子どもたちが大きくなるまでずっと成長を見守って行きたいと思っています。また、避難して他県に行っている子ども、キャンプに来て再会を果たしています。つながっていく関係を大事にしたいですね。



南房総・結の会と 手を取り合って実現しました！

なかのアクションが保養をやらうと決めた時、東京の中野ではのびのびと外遊びができないと思い、どこか自然豊かなところで保養ができないだろうかと考えました。それで南房総市千倉の友人たちに話を持ちかけたところ、二つ返事で「やらう!」と许诺してくれました。そして「結の会・南房総」を結成。南房総市の協力も受け、楽しいプログラムをたくさん企画してくれています。地元の理解がなければできないことを、広いネットワークを使い保養キャンプを実現してくれています。福島と中野と南房総の、トライアングルプロジェクトとなりました。



春キャンプの様子を伝える房日新聞(2012年3月27日)